



竜中だより

校訓 自律 協力 創造 勤勉

NO. 10

令和6年1月11日発行

学校ホームページ



<http://ryuyo-j.city-wata.ed.jp/>



あけましておめでとうございます

令和6年がスタートいたしました。本年もよろしくお願いたします。そして、いよいよ令和5年度の最後が近づいてまいります。3年生は、進路決定に向けて正念場の時。希望の実現に向け、力を十分に発揮できるよう取り組んでまいります。1・2年生も、今のクラスで過ごすのは残すところ3ヶ月。4月から過ごしたクラスメイトとともに、さらなる成長ができるよう努めてまいります。

また、インフルエンザの流行に加え、相変わらず新型コロナウイルスも油断できず、体調管理には十分な注意が必要な生活が続きます。3学期が充実した期間となるよう、健康に過ごすための環境作りを、御家庭と協力しながら作っていきたく思います。

教職員一同、卒業や進級に向けて精一杯取り組んでまいります。引き続き、竜洋中学校の教育活動に御支援と御協力をよろしくお願いいたします。



1月9日（火） 3学期始業式

1月9日に3学期の始業式がリモートで行われ、全校生徒はそれぞれの教室で始業式に参加しました。久しぶりに集まった仲間とともに、新年の落ち着いた空気の中、良い雰囲気で行われ、始業式に参加することができていました。

代表生徒のみが校長室に集まり、カメラの向こうの全校生徒に「3学期の決意」を発表しました。だいぶ緊張していたようですが、発表の内容は自己や他者との対話の中で自分の考えを深めてきたことがよく分かり、自分なりの言葉で立派に考えを述べるできていました。



3 学期始業式 校長式辞

皆さん、あけましておめでとうございます。皆さんはどんな思いで新しい年を迎えたでしょうか？

私は天竜市二俣町という所で生まれ育ちました。現在は浜松市天竜区二俣町という住所になっています。まだ実家があり、父親が住んでいます。このお正月にも家族や親戚が集まって楽しいひとときを過ごしました。さて、今年の干支（えと）は甲辰（きのえたつ）です。干支というのはもともと、古代中国で生まれたもので、十干（じっかん）と十二支（じゅうにし）の組み合わせでできています。十二支には動物が当てはめられていて、辰には龍（竜）が当てはめられています。十二支の中では唯一の想像上の動物です。

龍は古来より中国では権力の象徴とされていて、縁起の良い生き物とされています。また、日本では、竜王、竜宮の神、竜宮様などと呼ばれて、水を司る神様として日本各地に祭られています。

甲辰（きのえたつ）の「甲」は十干の最初の文字であり、物事の始まりを意味しています。そして「甲」と「辰」が組み合わさる「甲辰」の年は、「勢いよく活気あふれる年」、「上昇の勢いがあり成長していく年」と言われているそうです。

さて「竜」と言えば、私たちの学校「竜洋中学校」についてもお話します。竜洋中学校が開校したのは1948（昭和23）年です。新しく中学校をつくるために学校の名前を一般から募集したそうです。様々な案が出された中で、「天竜川」と「太平洋」にちなんで「竜」と「洋」を合わせて「竜洋」という名前ができたそうです。

では、天竜川の名前の由来は何でしょうか？「天竜川の水の流れが速く、竜が天に昇っていくかのように見える」という説や「天竜川が流れ出る長野県の諏訪湖の近くにある諏訪大社に祭られている竜神から取った」という説があるようです。

新しい年を迎えて、今年は何か新しいことにチャレンジしてみたいと考えている人も多いのではないかと思います。「甲辰」の今年は、皆さんにとって、勢いよく成長できる一年になることを願っています。

